



News Release

05 - D - 056

2005年4月18日

株式会社ベルーナ (証券コード: 9997)
債券格付据置: 「BBB+」(トリプルBプラス)

株式会社日本格付研究所(JCR)は以下のとおり債券の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

発行体: 株式会社ベルーナ

【据置】

(対象)	(発行額)	(発行日)	(償還期限)	(利率)	(格付)
・第1回無担保社債	50億円	2000年12月20日	2005年12月20日	2.06%	BBB+
・第2回無担保転換社債	50億円	2002年4月15日	2007年3月30日	0.20%	BBB+

【格付事由】

- (1) カタログ通販を中心に事業を展開している大手通販会社。また、食料品を中心とする頒布事業、健康食品や化粧品などの単品通販事業、カタログ会員向けキャッシングサービスなどの金融サービス事業など周辺事業にも注力している。
- (2) 近年の通販業界では、新しい媒体の利用などにより顧客数を伸ばしている新興企業の台頭が見られる反面、店舗小売業との価格競争などから売上が減少している企業もあり、二極化の傾向が強まっている。特に、通販市場が拡大する一方でカタログ通販市場は縮小傾向にあり、従来通販業界をリードしてきたカタログ通販業者の中には業績が悪化している先もある。このような中、当社は顧客ターゲットを「中間都市に住む40代、50代の有職女性」に絞込み、マス媒体(新聞折込チラシ)を活用して新規会員を獲得するとともに、顧客層のニーズを適確に汲み取った商品構成の確立に努め会員数を増加させてきた。
- (3) 業績は堅調に推移している。海外開発商品の仕入増による原価低減や若い従業員を積極的に活用することによる人件費抑制効果に加え、単品通販事業や金融サービス事業などの周辺事業の好調もあり、営業利益率は10%前後の高い水準を維持している。ただし、主力のカタログ事業には収益性の低下が見られる。当社ではカタログ内容の刷新による現在の優良顧客の囲い込みや、ターゲット顧客層の若年女性等への拡大、販売媒体の多様化などにより同事業の収益力の回復を図っていく方針である。当社は、周辺事業の好調に支えられた05/3期に引き続き、06/3期も増収増益を計画しているが、カタログ事業の動向は同期業績に大きく影響するものと思われる。
- (4) 金融サービス事業の拡大に伴い有利子負債残高は増加傾向にあるが、実質的な増加分は限定的である。当面大規模な設備投資の計画もなく、健全な財務体質は今後も維持される見込みである。格付けの方向性は安定的。

以上

(チーフアナリスト 山本 昇治・シニアアナリスト 水川 雅義)

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を勧奨するものではありません。格付けは原則として発行体から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8
時事通信ビル

<情報提供電子メディア(検索コード)>

BLOOMBERG(和文:JCRA/英文:JCR) REUTERS(EJCRA)
QUICK(和文:QR/英文:QQ) TELERATE JIJI PRESS

<お問い合わせ先>

TEL:03-3544-7013 FAX:03-3544-7026 担当:情報部
<http://www.jcr.co.jp>